

ため池南側広場（子ども花壇）の 管理記録

世羅徹哉・永木利夫*

平成13年度に花壇として整備したため池南側広場は、コスモスの後はハナナ、ヒマワリと原則的に単一種類を植栽、展示した。更に平成14年9月のコスモス植え付け以降は、広島市が行った「子ども花壇設置事業」の実施場所となったので、この事業による花壇管理結果も含めて記録する。なお、この事業は、緊急雇用対策として臨時雇用された職員が、植物公園で草花のは種、育苗を行い、この花苗を、公募に応じた子どもを含む一般市民を指導して花壇に植え付けさせ、その後の管理を行うというものである。

1 ハナナ他

平成13年11月12～13日にコスモスの花摘みを行った後、100㎡当りバーク堆肥500kg、油粕10kg、サンライム2.5kg、ペレックス（8-8-8）10kgを混入、耕耘した。同月15～17日にかけて、植栽区画全体に条間25cmでハナナを筋蒔きした。発芽が遅かったため、12月6日から一部に霜よけ被覆材（パオパオ）をかけたが効果が見られなかった。平成15年1月上旬に、ハナナの間引き移植を行い、同2月上旬には条間にジャーマンカモミール、アグロステンマ、ダイヤーズカモミールを、また植栽区の縁取りとし



写真1. ハナナ

てヒルザキツキミソウとシレネ‘ピンクピルエット’を植えた。一方、3月には園路に排水不良が認められたので、園路に沿って溝を掘り、碎石を敷いて既設透水管につなげる作業を行った。

ハナナは平成14年3月中旬から開花始め、4月初旬に満開となった。本年度は、ハナナ、サクラ（ソメイヨシノ）、コバノミツバツツジがほぼ同時に満開になり、来園者到大変好評だった。4月6日と7日に昨年のコスモスと同様の花摘みイベントを開催し、参加者は合計213人だった。ハナナを抜き取ったところ、次に開花させるために植えたジャーマンカモミール、アグロステンマなどが徒長し、ゴールデンウィーク中に良好な状態になることが望めなかったため全て抜き取り、一部に当園で育成中のジギタリスを植え付け、残りの区画には来園者がヒマワリの種を直まきするという、子どもの日の臨時イベントを開催した。ジギタリスは5月初めから20日頃まで開花し、花茎の高さは1.5mに達して来園者の注目を浴びた。ヒマワリの種まきには66組約200人の参加があった。

2 ヒマワリ

ハナナなどを撤去した後、植栽区画100㎡当りに剪定枝堆肥（1度粉碎）500kg、マリンカル20kg、ペレックス20kgを混入、耕耘した後、3品種のヒマワリをは種した（表）。品種は、全域が8月上旬に満開を迎えるように、ジギタリスを植えた区画用に到花日数が他よりも30日短いものを加えて選定した。

イベントで直まきしたものは発芽が悪かったため、補植用にポット育苗した苗を植えた。6月上旬、ヨトウムシの食害が出始めたが、アディオン乳剤1500倍液、約1ℓ/㎡の量を、7日間隔で2回灌注した結果、被害がなくなった。また、6月下旬からハダニの被害があり、殺ダニ剤を散布したが完全には駆除できなかった。また、生育期間中の除草作業に多くの労力が必要であった。縁取りに植えたヒルザキツキミソウは生育が旺盛で、地下茎から次々と出芽して広がるので駆除が必要になった。一方、シレネは花後に見苦しくなったので抜き取り、代わりに *Thymus longicaulis* を植えた（写真2）。このタイムはマット状に広がり、縁の土止めにも有効であっ

表. 子ども花壇に植え付けたヒマワリの品種と生育

| 品 種 | は種日 月/日 | 株 間 (cm) | 開花期間 月/日 | 草 丈 (m) | 花摘み実施日 月/日 |
|---------|------------|-------------|-------------|------------|---------------|
| ソラヤ | 5/5～14 | 50 | 7/20～8/12 | 1.3～1.8 | 8/4、5 |
| サンスポット | 5/5～14 | 30 | 7/8～30 | 0.8 | — |
| F1ムンチンキ | 6/10～12 | 30 | 8/10～20 | 0.8 | 8/17、18 |

* 現 広島市広域公園管理事務所



写真2. 縁取りに植えた *Thymus longicaulis*

た。7月6日、台風による強風のため、高さ1m前後、蕾が見え始めたソラヤが倒伏した。翌日支柱を立てて起こした時には花茎が屈曲していたが、1週間後には元に戻り、正常に開花した。倒花日数は、90日タイプとされているソラヤとサンスポットがそれぞれ70、60日とかなり短くなった。これは、生育期間中の高温、少雨が原因と考えられる。品種によって開花期が異なったので、花摘みを2回、合計4日に亘って行った(表)。参加者は1回目102人、2回目182人であった。

3 コスモス

コスモスの植え付けから、「子ども花壇設置事業」として行った。

品種：センセーション

は種

時期：8月17～19日

容器：200穴セルトレイ80枚

用土：メトロミックス250

育苗

鉢上げ：9月3～9日、12,000ポット

容器：10.5cm黒ビニルポット

用土：まさ土：樹皮堆肥：ピートモス＝5：4：1

園場準備

堆肥：2度粉碎樹皮堆肥500kg/100m²

元肥：マリンカル、ベレックス各20kg/100m²

定植

時期：9月15～19日

株間：20cm (セル苗は10cm)

昨年よりも草丈を高く、花数を多くして開花中の景観をよりにぎやかにするため、は種期を約2週間早めた。9月15日の植え付けは、事業に応募した30組約120名が行い、残った場所には16～19日に、職員等が植え付けた。市民が植えた区画に写真3のような写真入ラベルを設置したところ、一般入園者の注意を引くことが多く、普及・啓発に有効な手段と思われた。植え付け終了前後



写真3. 子ども花壇に設置したラベル

から、主に成育不良の株で出蓄し始めたので、茎頂のみ摘蓄した。10月5日には草丈0.5～0.8mになって開花が始まり、同15日にはほぼ満開状態になったが、15日午後、突風とともに直径5mm前後の雹が降ったため花が傷んだ。この間、11日にOKF-1、400g/300ℓを合計600ℓ追肥(灌注)した。また、うどん粉病の初期防除としてミラネシン水和剤2000倍液を散布した結果、蔓延を防ぐことができた。10月末には草丈が1.2mになり、昨年に比べて着花数も多かったが11月3日の開園記念日には見ごろを過ぎた状態であった。花摘みは、予定通り11月9、10日に行い、参加者は443人であった。

4 アイスランドポピー

平成15年の春用には、ゴールデンウィーク中の花壇を美しくすることを考慮し、ハナナではなくアイスランドポピーを植えた。

品種：ゲルフォルトGT、ブリーズミックス

は種

時期：9月16～23日

容器：200穴セルトレイまたは育苗箱

用土：メトロミックス250

育苗

鉢上げ：10月14～25日、6,000ポット

容器：10.5cm黒ビニルポット

用土：まさ土：樹皮堆肥：ピートモス＝5：4：1

園場準備：コスモスの場合と同じ

定植

時期：11月23～25日

株間：20cm (通路に面した区画)、25cm

発芽まで底面給水としたが、用土表面が緑色に変質し、発芽率が低下した。鉢上げ後、11月の気温が例年よりかなり低かったため、苗の成長が遅れた。11月23日の植え付けに参加した市民は、39組約130人であった。